

令和2年度
山内図書館事業報告書

有隣堂グループ

2021/05

目 次

1. 山内図書館の基本方針	2
(1) 山内図書館の概要	2
(2) 指定管理者	2
(3) 山内図書館のコンセプト	2
2. 5年間の達成目標（令和2年4月～令和7年3月）	3
3. 令和2年度の事業報告	3
(1) 運営目標と振り返り	3
(2) 具体的な取り組み	5
ア 利用者サービス	5
イ 業務運営	8
ウ 職員育成	9
4. 決算	11
令和2年度「横浜市山内図書館」収支決算書	
別紙1. 令和2年度山内図書館自主企画事業実施事業月別一覧	
別紙2. 令和2年度山内図書館学校連携活動報告	
別紙3. 令和2年度山内図書館建築・設備保守管理実施表	

1. 山内図書館の基本方針

(1) 山内図書館の概要

施設名	横浜市山内図書館
所在地	横浜市青葉区あざみ野二丁目3番地の2
構造規模	鉄筋コンクリート造3階建 (図書館部分：2階) 地区センター併設(全体4,433.28㎡)
延床面積	2,147.22㎡
付帯	駐車場(施設全体で12台、業務用3台、 身障者用1台)



山内図書館は、昭和52年に横浜市内で2番目の地域館として開館しました。駅から徒歩3分の場所にあり、アクセスのよい便利な図書館です。蔵書数は中央図書館に次いで市内2番目(195,157冊 典拠:『横浜市の図書館2020』)と規模の大きい図書館です。平成22年度から有隣堂グループを指定管理者とする管理運営が行われており、令和2年度から令和6年度の期間も引き続き有隣堂グループによる指定管理運営を行います。

(2) 指定管理者

名称	有隣堂グループ
所在地	横浜市戸塚区品濃町881-16
代表団体	株式会社 有隣堂 代表取締役社長 松信健太郎
構成団体	三洋装備株式会社 代表取締役社長 菅生龍太郎
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日

指定管理者有隣堂グループは、「本」を専門とする株式会社有隣堂と「施設維持管理」を専門とする三洋装備株式会社で構成しています。有隣堂は、貸出返却・登録・レファレンスなどのカウンター業務を始め、資料の管理、予約業務、自主企画事業などの図書館運営全般を行っています。三洋装備は、山内地区センターとの共用部分を含む建物管理や日々の清掃業務および図書取次サービスを担当しています。

(3) 山内図書館のコンセプト

「地域」の力を「地域」に還元！

山内図書館は青葉区民のプラットフォーム

「横浜市民の読書活動の推進に関する条例」(平成26年施行)のもとで、図書館に「地域連携」という新たな課題が示された第二期では、積極的に地域との連携を図ってきました。第三期では、さらに連携を進め、地域コミュニティ創造の担い手として、民間ノウハウ・民間能力を十分に発揮し、インパクトのある事業の創出や、チャレンジ感あふれる取り組みを実践し、地域に根ざしたサービスの拡充に努めます。

2. 5年間の達成目標（令和2年4月～令和7年3月）

指定管理の実施により達成すべき目標は以下の3つです。

- (1) 地域の情報拠点機能を強化し、地域の要望や要請に応えられる蔵書構築に努め、暮らしに役立つ情報の収集・提供を行います。
- (2) 司書が読書活動コーディネーターとして地域との連携を進め、地域の読書活動を推進します。
- (3) 快適で楽しい読書環境づくりを促進します。

3. 令和2年度の事業報告

(1) 運営目標と振り返り

令和2年1月に日本における新型コロナウイルスの感染が報告され、2年度はサービスを限定した中でのスタートとなりました。緊急事態宣言の発令を受け、横浜市立図書館は4月11日から臨時休館しました。5月27日から予約図書の出納など一部サービスに限定して再開館し、以降、段階的に従来どおりのサービスを再開させました。この状況をふまえ、ビニールカーテンやパーテーションを館内に設置する等の感染症対策に取り組みました。自主企画事業は、感染状況を鑑みながら開催と中止の決定をしました。

横浜市立図書館において毎年策定される「横浜市立図書館の目標」および「年間資料収集計画」の令和2年度版に基づき、サービスを展開しました。また、計画していた自主企画事業は見送りになったものが多く、4～6月は全てを中止しました。託児サービスも、乳幼児との濃厚接触を避けられないことから、年間を通して中止としました。新事業として大人の倶楽部活動の起ち上げを企画していましたが、令和3年度以降に持ち越しとしました。12月に区と共催で行った講演会は、初の試みとして会場とZoom配信の2本立てで実施しました。オンラインによる配信は、新型コロナウイルスの終息が見えない中、読書活動推進のツールとして今後も活用を続けていきたいと考えます。

	令和2年度運営目標	管理指標	目標値	実施状況
ア 利用者サービス	(ア) 区内の図書貸出施設や団体、ボランティア等と連携した地域の読書活動	・地区センターまつり等への事業協力	2回	0回
		・乳幼児健診に出向いてのおはなし会開催	10回	2回
		・乳幼児健診で活躍できる人材を育てる講座	1回	0回
		・修理ボランティアに活動の場を提供	40回	41回
		・読み聞かせボランティアに活動の場を提供	館外10回 (館内)	0回 (52回)
		・夏のおはなし祭り開催	1回	0回
		・おはなしフェスティバル協力	適宜	適宜
		・地域との連携事業		別紙1参照
		・学校連携事業		別紙2参照

	令和2年度運営目標	管理指標	目標値	実施状況
ア 利用 者 サ ー ビ ス	(イ) 読書活動推進のための 区内読書活動拠点 のネットワーク構築	・読書関係団体交流会 (青葉区役所と共催) ・「読書のイベントカレンダー」の 作成継続	1回 年 12 回	1回 0回
	(ウ) 図書館前庭の美化	・玄関前の花壇をイングリッ シュガーデン風に施工 ・前庭のベンチ交換 ・追加：パーゴラ設置	施工 施工 施工	施工 施工 施工
	(エ) 郷土資料のデジタ ル化の推進および 利用者提供	・青葉区内の伝統行事や祭り の撮影と動画の編集・デジ タル化 ・郷土の写真や動画を紹介す る展示 ・ホームページの更新 ・青葉区郷土資料のデジタル 化	4本 1回 適宜 1冊	0本 0回 適宜 0冊
	(オ) 市民の必要とする情報 収集と課題解決支援	・課題解決支援自主企画事業開 催数 ・OPAC (図書館資料検索機) の使い方補助	9回 適宜	4回 適宜
	(カ) 障がい者支援を積 極的に推進	・あおば支援学校の図書コー ナー支援 ・障がい者支援機関のグルー プ貸出あるいは団体貸出登 録 ・りんごの棚 (障がい者向け の本、障がい者を理解する ための本を別置) の充実	適宜 2機関 30冊	適宜 1機関 60冊
	(キ) 読書支援ツール 「Life with Reading」 やビブリオバトルの普 及	・職業体験への導入 ・「Life with Reading」ワー クショップの開催 ・ビブリオバトルの開催 ・学校図書館研究会における 紹介	適宜 適宜 適宜 1回	0回 5回 1回 0回

	令和2年度運営目標	管理指標	目標値	実施状況
ア 利用者サービス	(ク) 幅広い情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、ブログを活用した情報発信 ・SNS(ツイッター、Facebook)を活用した情報発信 ・青葉区役所戸籍課への図書館作成チラシ提供 	適宜更新 ツイッター 適宜 Facebook 適宜 800枚×12回	適宜更新 270回 44回 800枚×12回
イ 業務運営	(ア) コンプライアンスの徹底	・コンプライアンス研修	1回	1回
	(イ) 危機管理、安全衛生管理の徹底と、安全・安心な図書館づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・事件・事故を想定した危機対応研修 ・地区センターとの合同防災訓練 	1回 1回	1回 1回
	(ウ) 防犯の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラの運用 ・図書館スタッフ、設備管理スタッフによる巡回 	運用 1日8回	運用 1日8回 以上
	(エ) 個人情報保護の考え方のスタッフ全員への周知徹底と適正管理	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護教育 ・個人情報内部監査 	2回 1回	2回 1回
ウ 職員育成	(ア) スタッフへの教育・研修の実施による能力向上・意欲の維持向上	<ul style="list-style-type: none"> ・商用データベース研修 ・接遇研修 ・人権研修 ・アルバイト向け修理講座 	1回 1回 1回 1回	0回 1回 1回 1回
エ 財務	(ア) 予算内の経費執行と効率的な管理	・山内堂の売り上げ前年度(令和元年度)目標維持	20万円	10.6万円

(2) 具体的な取り組み

ア 利用者サービス

(ア) 区内の図書貸出施設や団体、ボランティア等と連携した地域の読書活動

- 青葉区役所、市民利用施設、市民ボランティアと協働で「青葉区民読書活動推進目標」の達成に向けて読書推進活動を展開しました。青葉区こども家庭支援課と月1回「読書活動推進事務局会議」を開催し、青葉区における読書活動推進について話し合い、協働で読書活動を推進しました。令和2年度は「第2次青葉区民読書活動推進目標」を策定しました。
- 青葉国際交流ラウンジと山内地区センターのお祭りへの参加を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、いずれも中止となりました。

- 1歳半の乳幼児健診の際に青葉区福祉保健センターに出向し、手遊びをおりませながら、おはなし会を開催しました。年間10回を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止および同センターの改修工事により中止となった月が多く、年間での開催は2回となりました。
- 修理ボランティアの活動も年度前半は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休会していました。9月より活動を再開しましたが、修理本が滞留していたこともあり、活動日を増やし対応した修理グループもありました。
- 読み聞かせボランティアの活動の場として区内の市民利用施設等や学校を想定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、外部からの申込はありませんでした。山内図書館内で開催するおはなし会に協力してもらいました。
- 夏のおはなし祭りは例年、延べ参加人数が1,000人を超えることから、過密状態が避けられないと判断し中止としました。
- おはなしフェスティバルも上項と同じ理由から中止となりました。月1回開催の実行委員会も中止となる回が多かったのですが、開会時には山内図書館からも担当者が出席して情報の共有を図りました。
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、職業体験およびインターンシップは中止となりました。また、例年開催している学校司書とボランティア向けの修理講座と読み聞かせ講座も年度前半に予定していたものは中止しました。後半は例年ステップアップ講座を開催していましたが、今年度はレベルを設定せずに初心者から上級者まで受講できる内容に変更しました。

(イ) 読書活動推進のための区内読書活動拠点のネットワーク構築

- 青葉区役所と共催による読書関係団体交流会を開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けて、各団体ともに「どのように対応したらよいか」という課題を抱えていました。「コロナ禍における読書活動事例紹介」と題して、3団体からZoomの利用方法や感染予防対策の話をしてもらいました。
- 月刊での発行を予定していた「読書のイベントカレンダー」は、情報源である各施設がイベントを中止したことから、年度通して休刊しました。

(ウ) 図書館前庭の美化

- 図書館前庭の花壇の植栽をイングリッシュガーデン風につくり変えました。青葉区の開発に大きく関わった東急株式会社が公募する「みど*リンク」アクション(地域のまちづくり活動や緑化活動の企画の中から特にすぐれた企画に支援を行う事業)の支援を受け、花壇を整え、植物を購入しました。年度の後半には、イングリッシュガーデンの植物を使ったクラフトワークショップを開催しました。
- 前庭のベンチを交換しました。前項のイングリッシュガーデンと調和がとれるようにデザインを依頼し、木製のベンチとパーゴラ(住宅の軒先や庭に設ける木材などで組んだ棚)を設置しました。

(エ) 郷土資料のデジタル化

- 昨年度プロジェクトを起ち上げましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、プロジェクトメンバーである市民が集うことができず、活動を中止しました。

- ホームページ「青葉風景写真データベース」に昨年度のプロジェクト活動で準備をすすめていた写真4点をアップロードしました。

(オ) 市民の必要とする情報収集と課題解決支援

- 12月に「新型コロナウイルス対策～これまでとこれから～」と題した講演会を開催しました。感染症の専門家に話をしていただき、時宜にかなった講演とすることができました。感染症予防のため会場参加人数を50人にしぼり、Zoom ウェビナーによるオンライン配信を併用しました。
- 子どもたちの利用の多い夏休みに企画していた「小学生夏休み一日図書館員」や「わくわく科学講座(光の不思議)」は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。
- 学校連携の修理講座は、春の基礎講座が実施できなかったため、秋に行うステップアップ講座の内容を検討し、簡易修理と綴じ直しの技術(アジロ綴じ)を組み込みました。
- 10月に「牛込の獅子舞講座」を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため獅子舞そのものが中止となり、講座も中止しました。
- 利用者向けに朝日新聞データベース「聞蔵Ⅱビジュアル」の使い方講座(大人のための調べ方講座 中級)を3月に開催しました。受講者にはインターネットに接続したパソコンを1人1台用意し、データベースの機能の説明と検索の実習を行いました。

(カ) 障がい者支援

- 青葉区内の支援学校が令和2年の4月に開校しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため年度前半は連携した活動を行うことができませんでした。10月に図書館利用に関する相談があり、団体貸出の登録を行いました。
- 神奈川県立支援学校2校から職業体験を受け入れました。11月に支援学校の高校2年生の現場実習として3名、12月に養護学校の高校1年生の社会体験学習として3名を受け入れました。
- 昨年度新設した「りんごの棚」に、やさしく書かれた LL ブックを大人向け、子ども向けそれぞれ追加購入しました。障害を理解するための本や、児童向けの「大きな文字の青い鳥文庫」も追加購入しました。特別支援学校の職業体験および社会人研修の際に、りんごの棚を紹介しました。「りんごの棚」の本を学校でも活用したいという希望があり、特別支援学校はグループ貸出の登録を行いました。

(キ) 読書支援ツール「Life with Reading」やビブリオバトルの学校への普及

- 令和2年度生涯学習文化財課「先駆的な読書活動推進の取組」の予算を得て、読書のコツや楽しみを共有する読書支援ツール「Life with Reading」を活用した小中学校でのワークショップを5回開催しました。区の目標である読書活動を介したコミュニケーション力の向上や子どもたちが本に親しむ環境づくりにも寄与することができました。
- 令和3年2月に中学校の図書委員会の活動時間にビブリオバトルを行いました。
- 令和3年1月に青葉区小学校図書館研究会で「Life with Reading」のワークショップの開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発出されたため中止となりました。

(ク) 幅広い情報発信

- ホームページ、ブログのほか、Facebook・ツイッターなどソーシャルネットワーキングサービス(SNS)を用いて広報の拡充を図りました。Facebook とツイッターはチームで取り組み、Facebook は 44 回、ツイッターは 270 回更新しました。
- 4月～5月は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために市立図書館全館が休館しました。休館中の図書館の様子や家でも楽しめる読書関係のコンテンツをツイッターで紹介しました。ブログでは、「臨時休館中だけど本の紹介」と題して、毎日おすすめの本を紹介しました。また、開館時間の変更やサービスの変更などはすべての媒体で迅速に運営情報の発信ができるように取り組みました。
- 経年劣化により駅返却ポストの不調が続きました。駅ポストへの掲示を迅速に行い、地区センターなどの各図書取次施設へは、速やかに情報を提供しました。
- 地域のミニコミ誌への情報提供を定期的に行いました。
- 地域のコミュニティFMに出演して、山内図書館の事業やサービスについて広報しました。
- 図書取次サービスのチラシを区役所から転入者に配布してもらい、新住民に広く図書取次サービスを知ってもらうよう努めました。

イ 業務運営

(ア) コンプライアンスの徹底と利用者満足度向上への取り組み

- 職員・アルバイト全スタッフが、有隣堂のエシックスカードを携帯し、企業行動指針を 復唱しました。また、コンプライアンス内部監査の実施により、法令遵守と倫理の徹底を図りました。
- ホームページで、「事業計画書」「事業報告書」「利用者フォーラム議事録」「セルフモニタリング評価書」「横浜市山内図書館 2020 年図書館利用者満足度調査報告書」「山内図書館の目標・振り返り」といった山内図書館の運営情報を公開しました。

(イ) 危機管理、安全衛生管理の徹底と、安全・安心な図書館づくり

- 「安全目安箱」を設置し、設備・備品等の不具合や、働く上での課題をスタッフから無記名で投書してもらうようにしました。
- 職員とアルバイトスタッフ(リーダー、サブリーダー)で月1回話し合いをもち、安全衛生を含めた課題を話し合い、解決につなげました。
- 併設の山内地区センターと合同で防災訓練を行いました。令和2年度は山内地区センターの調理室を火元と想定した消火訓練を行いました。

(ウ) 防犯の強化

- 「横浜市山内図書館 防犯カメラ運用基準」に則り、図書館内の防犯カメラを運用しました。
- 施設管理のスタッフが図書館内を1日3回、図書館職員が1日5～7回巡回して防犯および安全管理に努めました。

(エ) 個人情報保護の考え方のスタッフ全員への周知徹底と、個人情報の適正管理

「横浜市立図書館個人情報保護に関する方針」および「有隣堂個人情報保護方針」に基づき個人情報の収集・利用・管理について、適切に実施するよう努めました。

次に挙げる個人情報保護に関する教育、監査、点検を実施しました。

- ・ テスト(個人情報保護全社教育確認シート記入)の実施 年2回
- ・ 有隣堂プライバシーマネジメントシステム監査 年1回

令和2年度は、メールアドレスの入力ミスによる E メール の誤送信が1件発生しました。タイプによるメールアドレスの入力を極力避け、タイプをする場合は読み上げによるダブルチェックを徹底するよう、マニュアルを改定しました。

(カ) その他

- 新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底しました。
 - ・神奈川県 の LINE コロナお知らせシステムに登録し、感染防止対策取組書を掲出
 - ・横浜市立図書館の感染予防対策および有隣堂「新型コロナウイルス感染及び感染疑い者発生時の対応マニュアル」に準拠
 - ・出入口にアルコール消毒液を設置
 - ・飛沫感染防止のために、カウンターにビニールの仕切りを設置
 - ・貸出カウンターに並ぶ際に密にならないように、並ぶ間隔を床に明示
 - ・閲覧席の間隔を開けて席数を制限し、仕切り版を設置
 - ・定期的に窓を開け、換気
 - ・図書除菌機の設置
 - ・利用が終わった閲覧席のアルコール消毒
 - ・閉館後に、利用者が多く触れている可能性のある場所を消毒
 - ・職員およびアルバイトスタッフの貸出・返却カウンターにおけるマスク・手袋着用を徹底
 - ・職員およびアルバイトスタッフの休憩時食事時の、発語の禁止
 - ・利用者にも、ポスター、放送でマスクの着用を呼び掛け
- 有隣堂本部と館長・副館長による職員の評価とヒアリングを行い、問題の解決を図り、モチベーションの向上につなげました。
- 職員会議を毎週火曜日に 45 分間開催し、各職員間で情報の共有化を図るとともに、課題については解決策を討議しました(令和2年度開催数 48 回)。
- 建築物・建築設備ともに令和元年度山内図書館建築・設備保守管理表に基づき点検を実施しました(別紙3)。積極的な保守管理を行い、異常が発生する前の予防保全を行いました。
- 施設管理者点検の点検結果に基づき優先順位をつけ、計画的な修繕を実施しました。

ウ 職員育成

(ア) スタッフへの教育・研修の実施による能力向上・意欲の維持向上

- 職員が中央図書館、県立図書館、神奈川県図書館協会主催の研修やその他の研修に 14 回参加し、それぞれの専門性を向上させました。新型コロナウイルス感染症対策として、オンライン形式による研修が増加しました。今年度は下半期に5回オンライン受講しました。
- 研修に参加した後は、必ず資料を添付した報告書を作成し、これを回覧することにより、職員全員への情報共有を図りました。研修によっては、職員会議において受講者が研修内容を職員に伝え情報共有を図りました。
- 職員向けに商用データベースの使い方研修を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、日程の調整ができず中止としました。
- 職員およびアルバイトスタッフ全員を対象とした内部研修を実施しました (5回)。
 - ①接遇 ②コンプライアンス ③防災 ④個人情報保護 ⑤人権防災研修は、消防出張所の所長に講師を依頼し、災害時の負傷者の搬送方法について学びました。人権研修は、地域ケアプラザから講師を招き、認知症の利用者への対応につい

て学びました。危機管理研修は、同じ建物内の山内地区センターが帰宅困難者受け入れ施設となっていることから、建物全体の災害時運用について青葉区役所の講師の話聞く予定にしていました。3月に予定していましたが、担当講師が新型コロナウイルスのワクチン対応中のため、次年度に延期となりました。

- アルバイトスタッフを対象に、簡易修理講座を開催しました。
- 職員およびアルバイトスタッフを対象にテスト形式による情報セキュリティ研修を行いました。

エ 財務

(ア) 予算内の経費執行と効率的な管理

- 予算内に経費を抑え、効率的に管理しました。

(イ) その他

- 山内堂は、新型コロナウイルス感染症予防に伴う休館や事業の中止の影響を受けた結果、目標の50パーセントの売上となりました。
- 新型コロナウイルス感染症予防に伴う休館等により縮減された費用(光熱水費、人件費等)を活用し、実施可能な修繕やLED交換工事を行い、安全で快適な環境づくりに努めました。

4. 決算

令和2年度 「横浜市山内図書館」 収支決算書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	180,180,000		180,180,000	180,180,000	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	200,000		200,000	105,918	94,082	臨時休館、自主企画事業中止等の影響による
自主事業収入			0	0	0	
雑入	500,000		500,000	298,597	201,403	
自動販売機手数料等	500,000		500,000	298,597	201,403	臨時休館、自主企画事業中止等の影響による
その他（ ）			0		0	
収入合計	180,880,000		180,880,000	180,584,515	295,485	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	103,365,300		103,365,300	101,974,970	1,390,330	
給与・賃金	87,495,500		87,495,500	86,573,070	922,430	
社会保険料	9,174,800		9,174,800	9,015,320	159,480	
通勤手当	5,936,000		5,936,000	5,326,880	609,120	
健康診断費	377,000		377,000	409,700	32,700	
福利厚生費	382,000		382,000	650,000	268,000	
事務費	3,955,000		3,955,000	5,242,615	1,287,615	
旅費	200,000		200,000	111,313	88,687	
消耗品費	1,000,000		1,000,000	1,694,435	694,435	感染予防対策費（消毒液等）
通信費	500,000		500,000	536,707	36,707	
使用料及び賃借料	15,000		15,000	13,992	1,008	
備品購入費	200,000		200,000	366,306	166,306	
雑誌・新聞購入費	1,620,000		1,620,000	1,702,655	82,655	
施設賠償責任保険	120,000		120,000	117,960	2,040	
職員等研修費	20,000		20,000	0	20,000	
振込手数料	0		0	0	0	
リース料	100,000		100,000	102,960	2,960	
手数料（ごみ処理費）	180,000		180,000	596,287	416,287	古紙回収手数料の単価上昇による
事業費	5,318,400		5,318,400	5,245,256	73,144	
自主事業費	4,500,000		4,500,000	4,426,856	73,144	
自主事業費（図書取次サービス）	818,400		818,400	818,400	0	
管理費	36,891,300		36,891,300	32,885,290	4,006,010	
光熱水費	21,650,000		21,650,000	14,288,140	7,361,860	
電気料金	12,500,000		12,500,000	8,618,854	3,881,146	新型コロナによる図書館と地区センターの臨時休館、利用制限、開館時間短縮による
ガス料金	4,000,000		4,000,000	2,985,747	1,014,253	
水道料金	5,150,000		5,150,000	2,683,539	2,466,461	
清掃費	5,247,000		5,247,000	5,247,000	0	
修繕費	1,500,000		1,500,000	4,821,850	3,321,850	自動ドア・LED交換工事等
機械警備費	880,000		880,000	880,000	0	
設備保全費	6,614,300		6,614,300	6,614,300	0	
空調衛生設備保守	1,991,000		1,991,000	1,991,000	0	
消防設備保守	396,000		396,000	396,000	0	
電気設備保守	1,221,000		1,221,000	1,221,000	0	
害虫駆除清掃保守	126,500		126,500	126,500	0	
建築設備保全費	2,186,800		2,186,800	2,186,800	0	
その他保全費	693,000		693,000	693,000	0	飲料水・ウォータークーラー水質検査、植栽剪定・草刈、煤煙測定業務
共益費	1,000,000		1,000,000	1,034,000	34,000	前庭ベンチ（パーゴラ設置）交換等
公租公課	9,350,000		9,350,000	10,058,000	708,000	
事務経費	22,000,000		22,000,000	24,500,000	2,500,000	本部支援費（人件費、システム経費等）、研修教材費 新型コロナ対応による業務量増加
支出合計	180,880,000	0	180,880,000	179,906,131	973,869	
差引	0	0	0	678,384	678,384	

令和2年度山内図書館自主企画事業実施事業月別一覧

月	事業名	参加人数			連携先
		大人	子ども	合計	
4月	【企画展示】ウォーキング ※新型コロナウイルス感染症に係る臨時休館に伴い中止	-	-	-	青葉区役所福祉保健課
	【企画展示】新学期、よんでみようこんな本！ ※新型コロナウイルス感染症に係る臨時休館に伴い中止	-	-	-	
	春の特別・英語のおはなし会 ※新型コロナウイルス感染症に係る臨時休館に伴い中止	-	-	-	横浜青葉国際交流の会、 国際児童文庫協会
5月	【企画展示】利用者アンケート結果 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止により3月に延期	-	-	-	
	ふるさと青葉の紙芝居① ※新型コロナウイルス感染症に係る臨時休館に伴い中止	-	-	-	あおば紙芝居一座
	絵本の世界を体感！おはなし会（全2回） ※新型コロナウイルス感染症に係る臨時休館に伴い中止	-	-	-	柴崎美奈氏（慶応義塾大 学大学院メディアデザイン 研究科 Embodied Media Project）／開発 協力：株式会社フレーベル、 凸版印刷株式会社
6月	<学>環境整備：本の修理初級編（全2回） ※新型コロナウイルス感染症に係る臨時休館に伴い中止	-	-	-	
	【企画展示】創業・起業を考える ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-	-	-	横浜信用保障協会
	<学>読み聞かせ講座：初級編（全3回） ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-	-	-	
	あざみ野ブックカフェ① ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-	-	-	
	大人のためのおはなし会① ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-	-	-	虹の部屋
7月	【企画展示】夏休み、よんでみようこんな本！	-	-	-	
8月	小学生夏休み一日図書館員 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-	-	-	
	やまうちとしょかん 夏のおはなし祭り2020 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-	-	-	地域で活動するおはなし ボランティア
	わくわく科学教室 光の不思議 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-	-	-	
9月	【企画展示】特定健診・高齢者健診 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-	-	-	青葉区役所福祉健康課
	おはなしボランティア養成講座（全3回） ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-	-	-	
	あざみ野ブックカフェ②	6	0	6	
10月	青葉の伝統芸能・牛込の獅子舞見学 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-	-	-	牛込古典獅子舞保存会
	<学>本の修理講座（全3回）	35	0	35	
	大人のためのおはなし会② ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-	-	-	虹の部屋
11月	【企画展示】こどもの虐待防止	-	-	-	青葉区役所こども家庭支 援課
	秋の特別 えいごのおはなし会（全2回）	3	10	13	青葉国際交流ラウンジ、 SCC、国際児童文庫協会 （ICBA）
	本の病院 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-	-	-	リペア一期の会
	【事業協力】青葉おはなしフェスティバル2020 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-	-	-	青葉おはなしフェスティ バル実行委員会
	【事業協力】山内地区センターまつり ブース出展 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-	-	-	
	【事業協力】区民交流センターまつり ブース出展 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-	-	-	

12月	【企画展示】ミニ展示「性感染症を知ろう」	-	-	-	
	絵本の世界を体感！おはなし会（全2回）	0	13	13	柴崎美奈氏（慶応義塾大学大学院メディアデザイン研究科 Embodied Media Project）／開発協力：株式会社フレイベル、凸版印刷株式会社
	青葉区読書推進事業 和田耕治講演会 新型コロナウイルス対策～これまでとこれから～	68	0	68	青葉区役所との共催
	あざみ野ブックカフェ③	15	0	15	
1月	【企画展示】大都市制度「横浜特別自治市」紹介パネル展／横浜市友好交流自治体「群馬県昭和村」フォトコンテスト入賞作品展	-	-	-	横浜市役所政策局大都市制度推進課
	ふるさと青葉の紙芝居②&青葉区いろはカルタ大会 ※新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言発令に伴い中止	-	-	-	あおば紙芝居一座
	〈学〉読み聞かせステップアップ講座「たのしい読み聞かせー中高学年向けの絵本を中心にー」	15	0	15	
2月	【企画展示】学校図書館展示	-	-	-	
	大人のためのおはなし会③ ※新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言発令（延長）に伴い中止	0	0	0	虹の部屋
3月	【企画展示】利用者アンケート結果	-	-	-	
	大人の調べ方講座 中級編	3	0	3	朝日新聞社
	あざみ野ブックカフェ④ ※新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言発令（延長）に伴い中止	-	-	-	
参加人数合計		145	23	168	

定例おはなし会（定例おはなし会、親子おはなし会、福祉保健センター連携事業等）

事業名・団体名	参加人数			日時
	大人	子ども	合計	
空とぶじゅうたんえほんとかたりおはなし会 （対象：3歳以上 1人でおはなしを聞ける子） ※4月～6月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。7月から事前申込制・定員制にして再開。全17回開催。	24	105	129	毎月第2・4水曜日 15:30～16:00
空とぶじゅうたんえほんとかたり親子おはなし会 （対象：1歳以上の子どもと保護者） ※4月～6月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。8月から事前申込制・定員制にして再開。全34回開催。	163	169	332	毎月第2・4金曜日 ①11:00～11:20 ②11:30～11:50 ※9月より開始時間を下記に変更 ①10:30～10:50 ②11:00～11:20
乳幼児健診出張おはなし会 ※4月～8月および11月～3月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。9月・10月のみ実施。全8回（4回／日）開催。	62	57	119	1歳6か月健診時
来館保育園おはなし会 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-	-	0	
参加人数合計	249	331	580	

その他の定例的な事業

事業名	参加人数			日時
	大人	子ども	合計	
子どもを育てるあそびとおはなし！“おはなしごっこ012” ※共催：NPO語り手たちの会“おはなしごっこ012”チームよこはま（対象：0.1.2歳児と保護者） ※4月～9月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	46	49	95	毎月第4木曜日 10:30～11:45